

新学期 教育実践「パワーアップ学習会」

新学期に備え、楽しい学級づくりをしたい、教科を楽しく分かるように教えたいという教師の願いに応えるために、教育実践「パワーアップ学習会」を企画しました。教師の力量を高める学習会です。どなたでも参加できます。講師はそれぞれの教育サークルなどの実践家にお申し込みしました。若い教師とベテラン教師が一緒になって学習会をつくりあげていきたいと思っております。みなさんの参加をお待ちしています。

2018年 2月 兵庫県民間教育研究団体連絡協議会会長 神戸学院大学名誉教授 小島 享

(1) 日時: 4月7日(土)

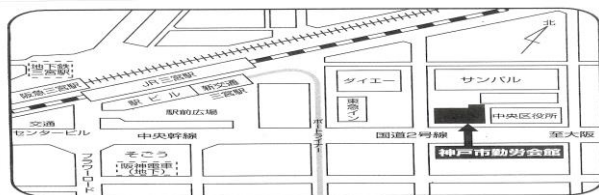
※受付 405号室 (午前9時～)

(2) 会場: 神戸市勤労会館 (078-232-1881)

(3) 資料代: 2000円 (学生1000円)

講座Ⅰ: 405号室

(①) 午前9時30分～10時50分 (②) 11時10分～12時30分



講座名	講師	内容・プロフィールなど
①のんちゃん先生の楽しい学級づくり 一学級開き「子どもたちとの出会いを大切に」	野口 美代子 (全国生活指導研究協議会)	学級づくりで大切にしなければならぬことは何か。長年の実践からお話します。 著書『のんちゃん先生の楽しい学級づくり』 『はじめて学級担任になるあなたへ』
②「からだ」から考える 今日の子どもと教育	久保 健 (日本体育大学・教授 学校体育研究司志会)	子どものからだのおかしさを問題指摘することど まらず、からだに有する新たな可能性をもとに、か らだから現代社会や学校教育を捉え直します。

講座Ⅱ

	午後 1 時 30 分～3 時	午後 3 時 15 分～4 時 45 分
404号	③高学年の学級づくり・学力づくり 門脇哲郎(学力研三田) 子どもたちがまとまり、 つながりのあるクラスづくり。 	④低学年の学級づくり・学力づくり 岡 篤(学力研三田) 学級担任がすべき3つのこと ～基礎作業基本方針危機管理～ 
405号	⑥「こんな楽しい社会科授業方法があったんだ!」(中高学年) 間森 誉司(兵庫歴史教育者協議会・甲南女子大学&立命館大学) 「資料読解を先行」にし「実物」や「写真資料」を前面に出したUD型 授業を組み立てると、自然にAL的な授業が生まれます。では、どう するのか? 「目からうろこ」の誰でもできる授業方法を模擬授業 型で紹介いたします。◎著書『小学校社会・授業を劇的に変える21の教育技術』他多数	⑥自然に親しむ生活科 中野照雄(歴史教育者協議会・北須磨文化センター親子自 然教室講師) 春の校庭(公園) 朝顔で何を? 身近にある素材をとことん生かす術 
406号	⑦国語(詩の授業) 村尾 聡(文芸教育研究協議会) 参観日などにすぐに使える詩の授業(低・中・高学年)を模擬授業形 式でわかりやすく提案します。 ◎著書『文学教育論-西郷文芸学の教育学的考察-』『西郷竹彦・教 科書ハンドブック小学校4学年・国語の授業』(共著)等	⑧「漢字学習と文芸研の授業で学級づくり」 井上憲雄(文芸教育研究協議会) 漢字学習と文芸作品が子どもの見方を変える! ◎著書『こんななかった 童話で学ぶ〇年の漢字』 『小学校学習漢字 1006字がすべて読める漢字童話』他
407号	⑨理科実験講座 鷲本 格(科学教育研究協議会) 水溶液、水蒸気の実験。回路カードを使った電磁気学習。 兵庫の地層と断層、地震のしくみを学ぶ教材を提案 参加者からの相談や提案もお待ちしています。  	⑩子どもも教師も、笑顔でほっこりつながり合うために 大江未知(教育科学研究会) がさがさゴソゴソにイラッとして、ガオー! 子どもも教師も 父母も責め合う関係では、毎日が辛いですね。お互いの弱 さを認め、支え合って未来を拓く学びを考え合しましょう! ◎著書『現実と向き合う教育学』『子どもの生活世界と子 ども理解』『教育をつくる-民主主義の可能性』(共著)等
409号	⑪「子どもとつくる学級～出会いから始める教師のしごと」 野口美代子・兵生研事務局 新学期で一番大事にしたいこと、 それは居心地のいい学級だと 思ってもらえること。 そのために何を大事にし、 何をしたいいけないのか。 出会い・そして1週間・一か月を見通した プランを一緒に立ててみましょう。 	⑫?と!の道徳の授業づくり 岩本 賢治(歴史教育者協議会・京都橘大学) 五つの原則で、道徳の授業を「!」(へ～、ほ～)と驚きの声 があがるような授業、「?」(え～、なぜ)と問いかけの声が あがる授業に変えます。 ◎著書『考え議論する道徳の授業 80 5年』『同6年』(喜楽 研)、『特別の教科である道徳』の小学校教科書を分析す る』『歴史地理教育』、『学ぶ側から道徳教育のあり方を問 う』『民主主義教育21』他多数。
体育館 (8階)	⑬学級開きに使いたくなるイニシアティブゲーム 小林明日香(学校体育研究同志会山梨支部) イニシアティブゲームとは、「一人では解決できないような身体的・精神的課題に対して、小集団で、メンバー一人一人がそれぞ れの知恵や力を出し合い、協力し合いながら課題解決をしていくアクティビティ」です。「社会性を育成する実際体験」とも言わ れます。学級開きや体育の導入に適しているかと思えます。軽い運動ができる服装で、ご参加下さい。 連絡先 田中 新治郎(武庫川女子大学)(080-6036-2530)	

申込み: 兵民教事務局 三上達夫(FAX:06-6849-3065/mail:xytpr712@ybb.ne.jp)